

令和 5（2023）年度

FD・SD 活動報告書

大阪河崎リハビリテーション大学

FD・SD 委員会

## 目 次

はじめに	-----	2
活動の概要	-----	3
1. 2023 度 FD・SD への取り組み理念・目的	.....	3
2. FD・SD 活動の組織・体制	.....	3
3. 活動実績	.....	3
4. FD・SD 研修会記録	.....	6
5. 授業評価アンケート分析結果	.....	13
FD・SD 委員会規程	-----	20

## 《はじめに》

本学を取り巻く状況は大変厳しい中、大学として最も重要な教育とそれを支える教職員の教育法や資質向上、情報交換のために、2023年度も多数のご協力を得てFD・SD活動を行ないました。今後、教職員の教育・研究活動への参考とするために、2023年度FD・SD研修会の実施内容、授業評価集計結果等を活動報告書としてまとめました。各層で有意義にご活用頂ければ幸いです。

本学では開講されている授業に対して、平成19年度から受講者による評価を開始しました。本年度も、学生の皆さんと、非常勤の先生方も含めた担当教員の多大なるご協力を得て、事務職員には各授業に対する取りまとめを含めた大変な業務を実施していただき、後半にまとめることができました。関係者の皆さま方に厚く御礼申し上げます。

授業評価のねらいは、本学のもっとも重要な教育活動である授業を、少しでもより良いものに向き上げていくこととあります。そのため、実際に授業を受ける立場である学生諸君に積極的な評価をしていただきましたが、その際には当然ですが、成績評価等にバイアスなどが生じないように十分な配慮をした上で、集計作業を行いました。この報告書には本学の開講授業全体でまとめた、各質問項目別の集計結果を記載してあります。実際の各授業科目別の集計については、個別にフィードバックを行いました。ただし、現段階では諸般の事情を鑑み、各科目別集計結果をそのまま公表するところまでは踏み込んでいません。各科目ご担当の先生方には、個別に自らの授業設計や講義運営についての忌憚のない評価結果を、まずはこの報告書にもある全体平均と比べながらご判断いただき、間に合えば残りの授業に反映していただきたいと考えました。その上で、学生側の授業への受け取られ方を、各項目が示している様々な面から自己評価して頂き、今後さらに工夫され、より良い授業を行うよう自己研鑽に励んでいただいています。

2023年度も、今までに頂いた意見を基に昨年度に引き続き遠隔授業に関する項目を加えたまま、授業評価を行うことで少しずつではございますが有意義な効果が出てくるものと思われまします。もちろん、評価する側の学生にとっても、授業への取り組みを今一度真剣に考える機会になっていることを期待するものです。今後、教員間における相互評価も含めて、各種検討課題を考慮しながら、授業評価をかさねることで、先生方による本学の開講授業がいずれもすばらしいものに向き上げ発展されていくこと、授業を受ける学生諸君が、よりよい授業に触れて素晴らしい療法士に育ってくれることを、FD・SD委員会を代表して切に願うものであります。また、アンケートの取りまとめと報告書作成はFD・SD委員会が担当いたしました。アンケートの実施は事務局学務係を中心に分担し、分析についてはIR室の協力を得て行いました。末筆ながら委員会各位、担当事務職員の方々のご協力に感謝いたします。

2024年5月

FD・SD委員会  
委員長 大嶋 伸雄

## 活動の概要

### 1. 令和5年度FD・SDへの取り組み理念・目的

建学の精神「夢と大慈大悲」、教育理念「知育」と「人間性を育む」を達成するために、FD・SD活動を通じて教育・研究活動等を活性化させる。

大学全入時代に突入し、本学学生が学力不足であることは否めない。専門にとらわれず、大学生として（あるいはセラピストとして）求められる基礎的な学習技能や学修態度（論理的思考、批判的思考）について大学教育を通じて培う必要がある。

そのため、教職員の教育・研究活動等の能力向上を図る必要がある。FD・SD研修や授業評価等を行い、授業の内容及び方法の改善等を目的とする。

以上の理念・目的から、教職員は本研修に必ず参加することとする。

### 2. FD・SD活動の組織・体制

FD・SD委員会を中心に実施し、各種委員会と適宜連携して取り組む。

### 3. 活動実績

#### (1) FD・SD研修会

令和5年度は以下のテーマで全7回のFD・SD研修会を開催した。欠席者に対しては、研修内容の研修動画の配信及び資料の配布によるフォローアップを行った。

2023 年度 FD・SD 研修会実績

回	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	4 月 11 日	建学の精神と事業計画 23 卒募集振返りと関西マーケットの今年度入 試状況報告	教員 34 名 職員 17 名
第 2 回	6 月 20 日	2023 年度・高校訪問時に説明する新たな内容に ついて 研究発表 2022 年度 授業評価フィードバック	教員 32 名 職員 29 名
第 3 回	8 月 1 日	コンプライアンス教育 研究倫理教育 科研費説明	教員 41 名 職員 31 名
第 4 回	10 月 3 日	本学における障がい学生に対する合理的配慮の 提供について SEL を活用したグループワークについて	教員 26 名 職員 30 名
第 5 回	11 月 28 日	発達障害のある大学生に対する対処と教育方法	教員 36 名 職員 26 名
第 6 回	12 月 12 日	2024 年度のシラバスについて 2024 年度 大学認証評価について 2023 年度前期授業評価アンケート結果につい て	教員 35 名 職員 25 名
第 7 回	3 月 12 日	学修支援委員会報告 2023 年度 本学大学院活動の報告	教員 39 名 職員 24 名

(2) 学生による授業評価アンケート

① 対象授業科目

以下の科目を除く全科目を対象に実施

(臨床見学実習、臨床実習概論、臨床検査・測定実習、臨床基礎  
実習、臨床総合実習Ⅰ、臨床評価実習、臨床総合実習Ⅱ、臨床総  
合実習、卒業研究、卒業論文)

② 実施時期、方法

期末、web 形式で実施

- ③ アンケート項目  
「5. 授業評価アンケート分析結果」参照
  
- ④ フィードバック  
個別フィードバック及びFD・SD研修会による全体のフィードバック
  
- ⑤ 回収率  
前期：62% 後期：45.6 %  
回答率  
前期：55.1% 後期：54.8%
  
- ⑥ 各分析結果  
「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

#### 4. FD・SD 研修会記録

##### 研修会記録

司会：坪田 裕司

研修会名	2023年度 第1回 FD・SD 研修会
実施日時	2022年4月11日（火）10：40～12：10
場所	1号館3階 第1中講義室 及び Teams 配信、オンデマンド
出席者 オンラインを含む	【教員】34（7）名 【職員】17（2）名 計 63名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 （ ）の数字はオンライン、オンデマンド受講者 内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
建学の精神と事業計画	武田学長	武田学長から別添の資料をもとに建学の精神と令和5年度の事業計画について説明があった。
23卒募集振り返りと関西マーケットの今年度入試状況ご報告	株式会社リクルート	株式会社リクルートから、2023年度の入試傾向及びリハビリテーション分野の志願状況等について報告があり、続いて本学における募集の結果の振り返りと分析結果の報告があった。

##### 【配布資料】

- ・令和5（2023）年度事業計画書
- ・23卒募集振り返りと関西マーケットの今年度入試状況ご報告

研修会名	2023年度 第2回 FD・SD 研修会
実施日時	2022年6月20日(火) 10:40~12:10
場所	1号館3階 第1中講義室 及び Teams 配信、オンデマンド配信
出席者 オンラインを含む	【教員】32(9)名 【職員】29(15)名 計 61名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 ( )内の数字はオンライン及びオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録(概要)
1. 「2023年度高校訪問時に説明する新たな内容について」 (広報委員会)	大嶋広報委員長	大嶋広報委員長から別添の資料をもとに今年度の広報について説明があった。
2. 研究発表 (2023年着任教員)	理学療法学専攻長 阿部真二先生	「39年の臨床活動と今後 ～ほぼ臨床 ときどき学校～」
	学科長 大嶋伸雄先生	「科研C(2023-2025年度) 高次脳機能障害者に対する認知行動療法を用いた行動変容アプローチの開発」
	理学療法学専攻 佐伯純弥先生	「超音波せん断波エラストグラフィを用いた筋・腱の硬さの評価と応用」
	理学療法学専攻 村上達典先生	「新任PT助教材上の研究紹介 ～回復期リハビリテーション病棟における退院支援～」
	作業療法学専攻 中越雄也先生	「作業療法教育に関する取り組み」
3. 2022年度 授業評価フィードバック (学部・大学院) (FD・SD委員会)	坪田FD・SD副委員長	2022年度の授業評価アンケートのまとめについて説明があった。

【配布資料】

- ・2023年度・高校/臨床実習病院 訪問による骨太の新・広報戦略
- ・2022年度 授業評価アンケートまとめ



研修会名	2023年度 第3回 FD・SD 研修会
実施日時	2023年8月1日（火）10：40～12：10
場所	Teams「FD・SD 研修会」 LIVE 配信・オンデマンド配信
出席者	【教員】 41名 【職員】 31名 計 72名 誓約書及びコンプライアンス教育理解度アンケートの提出で出席 カウント

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
1. コンプライアンス教育 —研究費の適正使用について—	亀井事務局長	令和5年度コンプライアンス教育についてスライドをもとに講義があった。
2. 研究倫理教育	中村研究倫理審査委員長 谷庶務係員	研究倫理審査委員長から研究倫理教育についてスライドをもとに講義があった。続いて事務局から研究倫理審査の申請方法について説明があった。また Forms を利用して研究倫理教育についての確認テストが実施された。
3. 科学研究費説明	中西庶務係長	令和6年度における科研費公募についてスライドをもとに主な変更点や学内締め切り日等について説明があった。

【配布資料】

- ・ 令和5年度コンプライアンス教育
- ・ 研究倫理について・研究倫理審査について
- ・ 科学研究費助成事業について

## 研修会記録

司会：上田 有紀人

研修会名	2023年度 第4回 FD・SD 研修会
実施日時	2023年10月3日（火）10：40～12：10
場所	1号館3階 第1中講義室・オンデマンド配信
出席者 オンラインを含む	【教員】26（2）名 【職員】30（9）名 計 56 名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 （ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
1.「本学における障がい学生に対する合理的配慮の提供について」	作業療法学専攻 塚 学生相談室長	大学における合理的配慮の提供について具体例を交えて説明があり本学が設定している修学上の合理的配慮の提供に関するガイドライン等の紹介があった。
2.「SELを活用したグループワークについて」	言語聴覚学専攻 和田英嗣 先生	SELを活用したST交流会（合同臨床ゼミ）の実施報告及び取組みの紹介があり、SELについて、詳しく解説していただいた。

### 【配布資料】

- ・ 大学における合理的配慮
- ・ SELを活用したグループワークについて

## 研修会記録

司会：河野 良平

研修会名	2023年度 第5回 FD・SD 研修会
実施日時	2023年11月28日（火）10：40～12：10
場所	1号館3階 第1中講義室・オンデマンド配信
出席者 オンラインを含む	【教員】36（4）名 【職員】26（7）名 計 62 名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 （ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
1. 発達障害のある大学生に対する対処と教育方法	東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 教授 伊藤祐子 氏	発達障害についてそれぞれ詳しく解説していただき、障害のある方の対応策について具体例を用いてご紹介いただいた。

### 【配布資料】

- ・発達障害のある大学生に対する対処と教育方法

研修会名	2023年度 第6回 FD・SD 研修会
実施日時	2023年12月12日（火）10：40～12：10
場所	1号館3階 第1中講義室
出席者 オンラインを含む	【教員】35（9）名 【職員】25（5）名 計 60名 ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 （ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
1. 2024年度 シラバスについて	岡田教務委員長	シラバスの作成にあたり、私立大学等改革総合支援事業の選定に関わる項目について説明があった。
2. 2024年度 大学認証評価について	坪田自己点検・評室長	2024年度予定している認証評価についての概要説明及びスケジュール確認があり、受審に向けての留意点等が報告された。
3. 2023年度前期授業評価アンケート結果について	大嶋 FD・SD 委員長	2023年度前期授業評価アンケートの全体をまとめたフィードバックを行った。また、次年度にむけて、現在未実施のため、オンライン授業に関わる質問事項の変更を検討する旨報告があった

【配布資料】なし

（スライドで共有）

- ・シラバス作成 私立大学等改革総合支援事業の選定校を目指して
- ・2024年度 認証評価について
- ・2023年度前期授業評価アンケートフィードバック

研修会名	2023年度 第7回 FD・SD 研修会
実施日時	2024年3月12日（火）10：40～12：10
場所	1号館3階 第1中講義室
出席者 <small>（オンラインを含む）</small>	<b>【教員】39（2）名 【職員】24（2）名 計 63名</b> ※当日欠席者にはオンデマンド動画を配信、 （ ）の数字はオンデマンド受講者、内数

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
1. 学修支援委員会報告	久利学修支援委員長	2023年度の修支援委員会活動報告、 ①カワリハドリルと読解力養成ドリルの導入効果 ②サキドリプログラムの取り組み状況について説明があった。
2. 2023年度 本学大学院活動の報告	中村研究科専攻長	2023年度の大学院活動及び学生授業評価アンケート結果の詳細や次年度以降の時間割変更点等について報告があった。

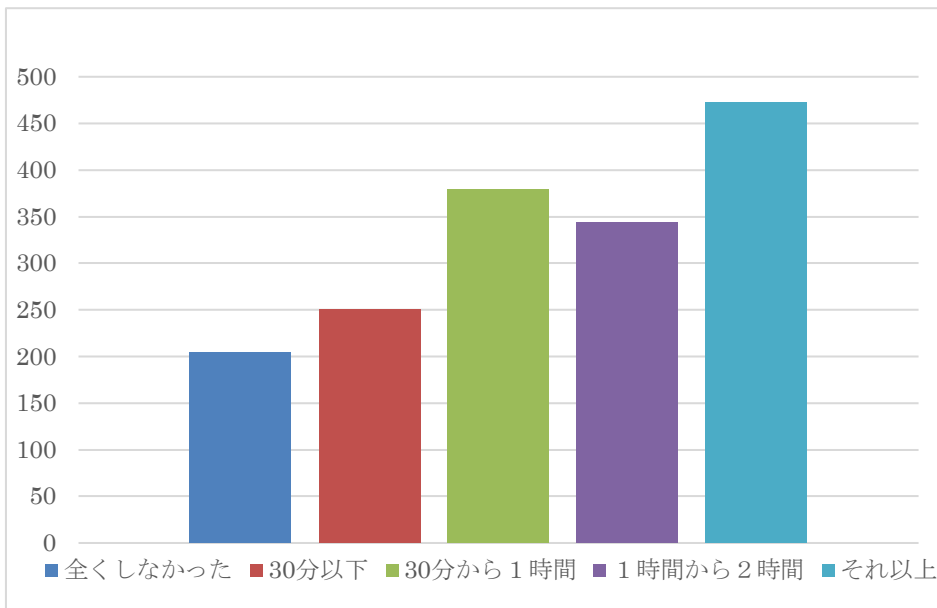
**【配布資料】**

- ・学修支援委員会報告
- ・2023年度 本学大学院活動の報告

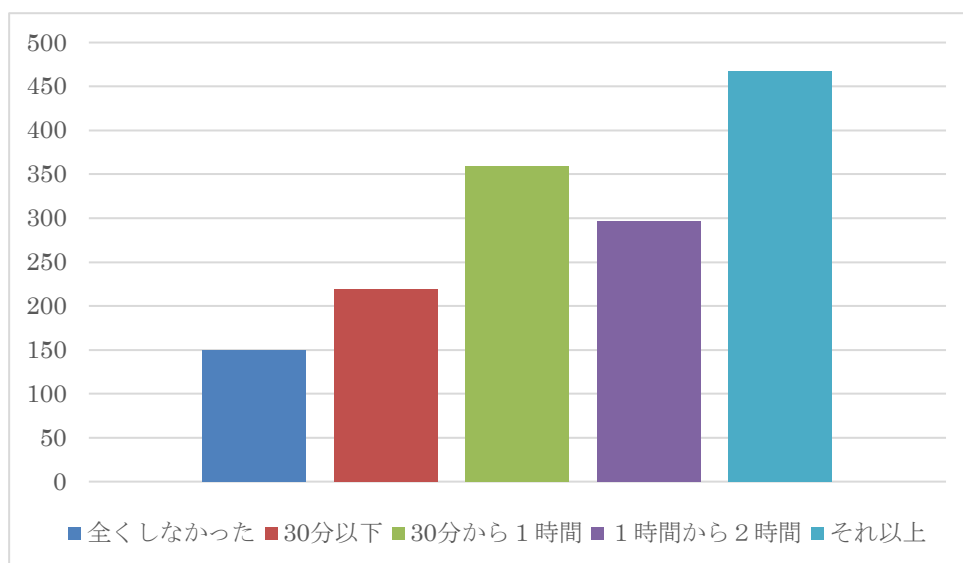
## 5. 授業評価アンケート分析結果

1. この授業の予習・復習・レポートの作成等に1週間で何時間取り組みましたか。

### 【前期】

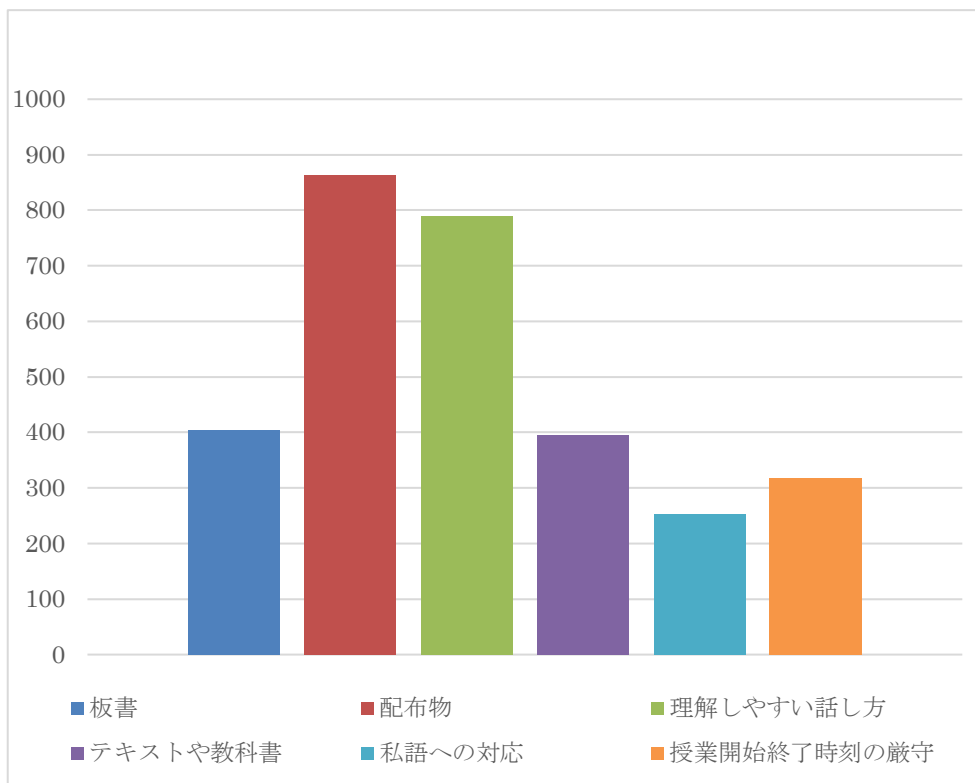


### 【後期】

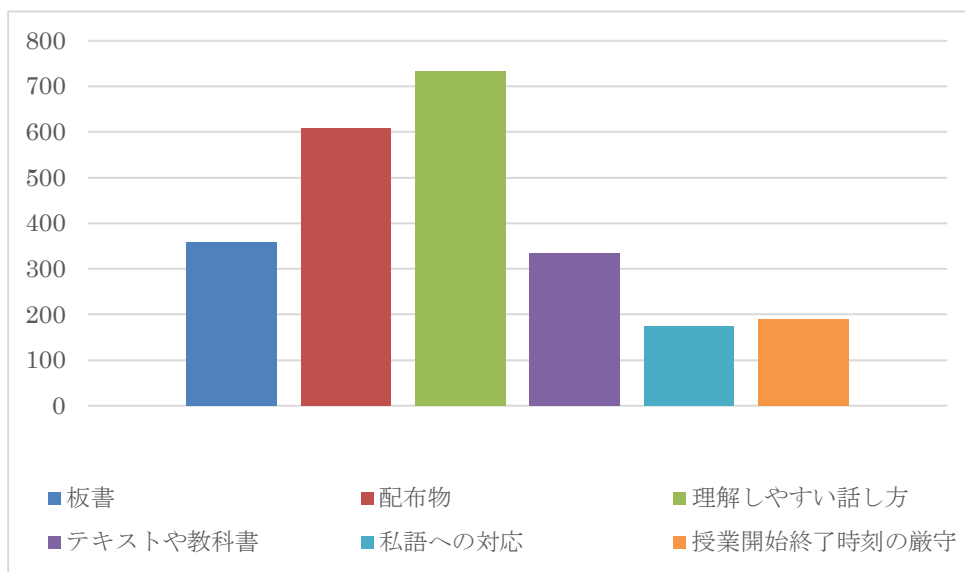


2. この授業で良かった点を全て選んでください。

【前期】

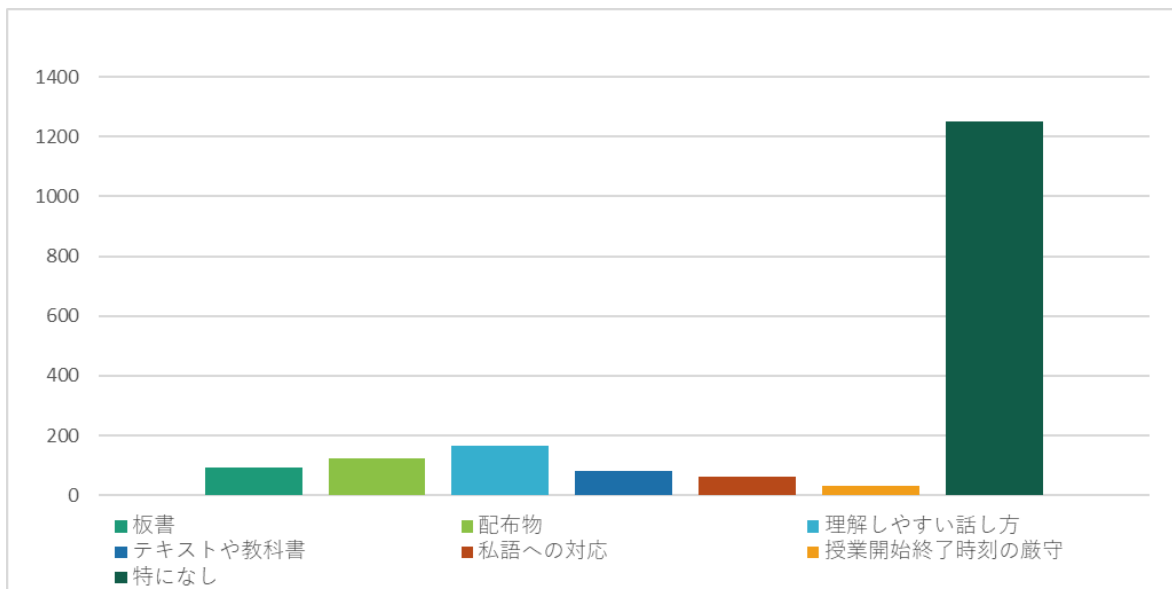


【後期】

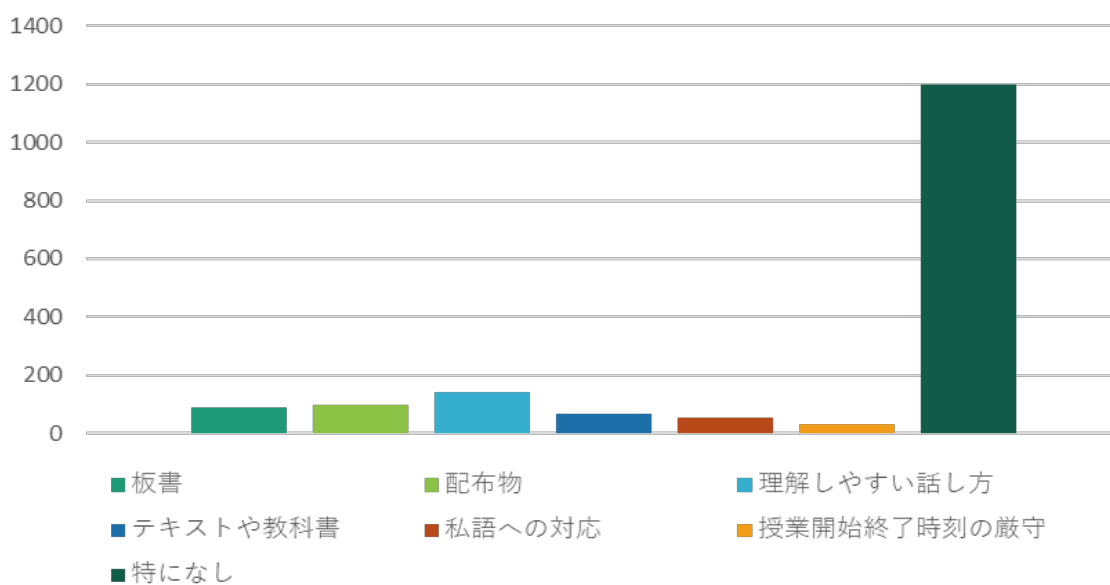


3. この授業で改善してほしい点を全て選んでください。

【前期】



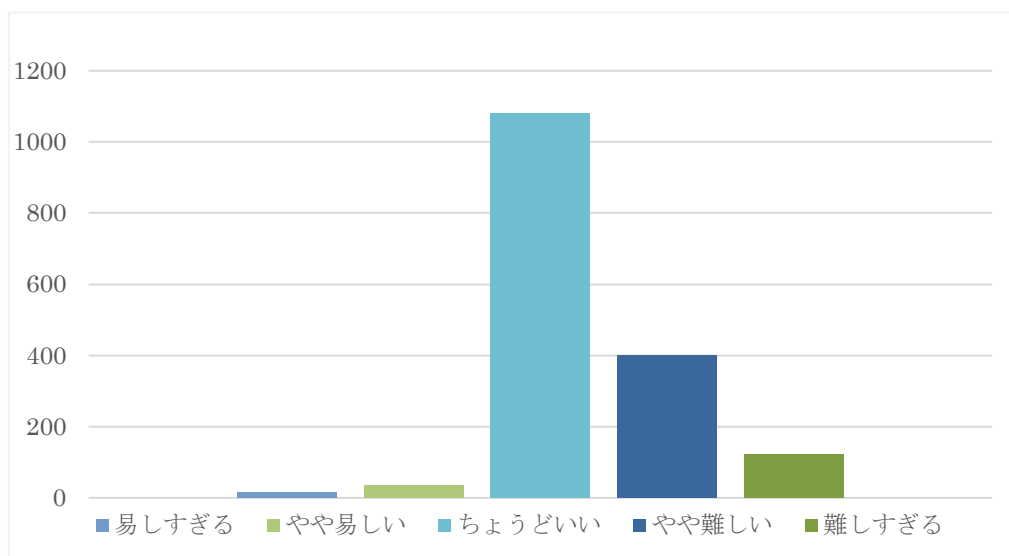
【後期】



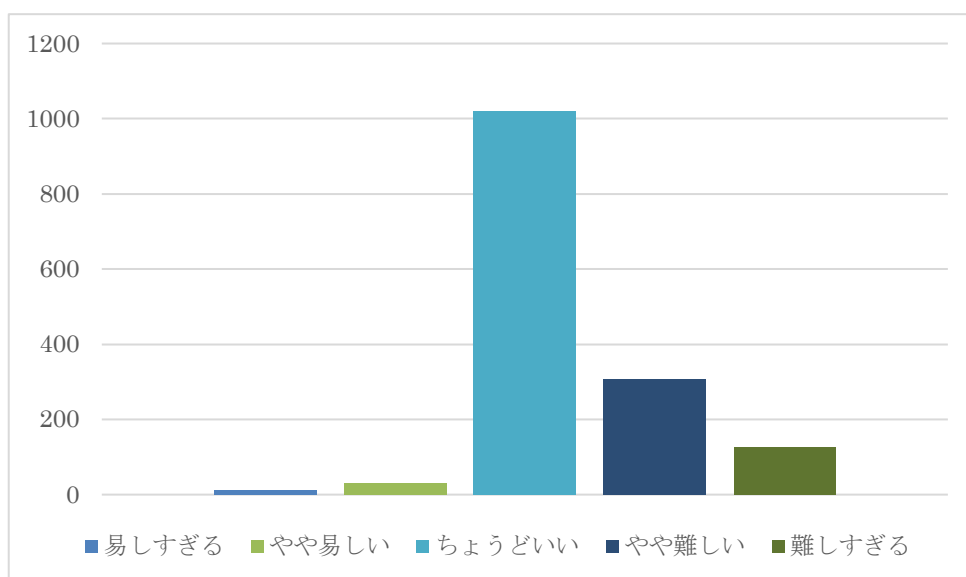


4. 授業の難易度は適切で理解可能な範囲でしたか。

【前期】

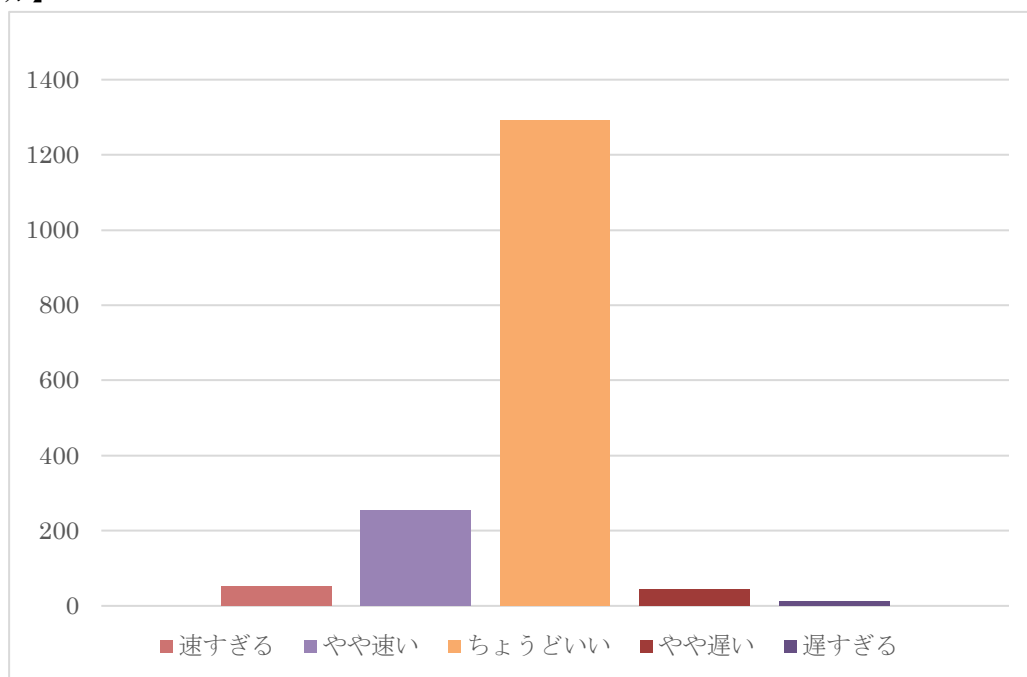


【後期】

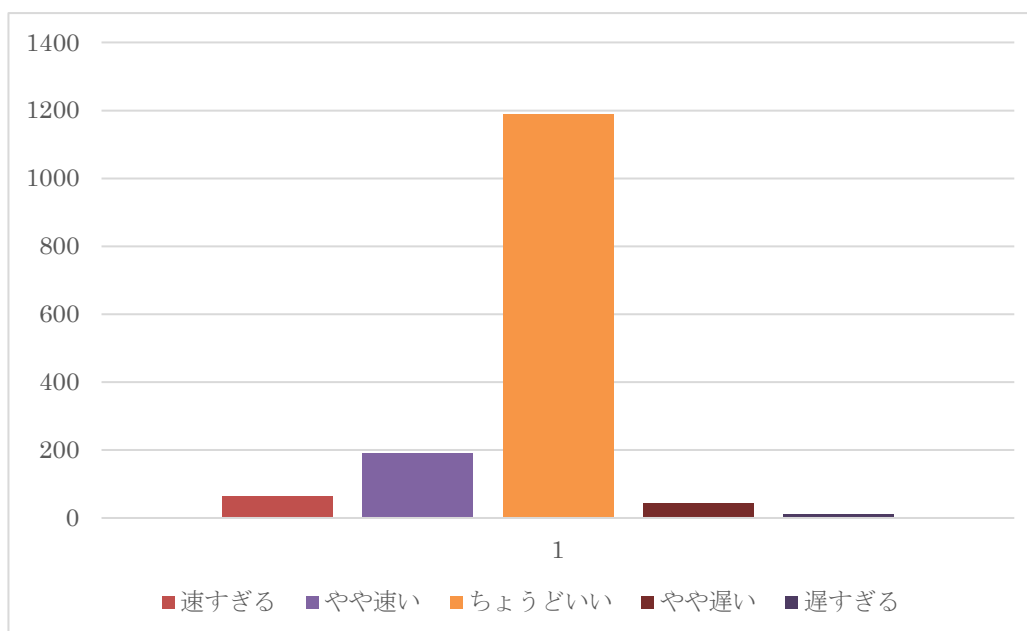


## 5. 授業の進度は適切でしたか

### 【前期】

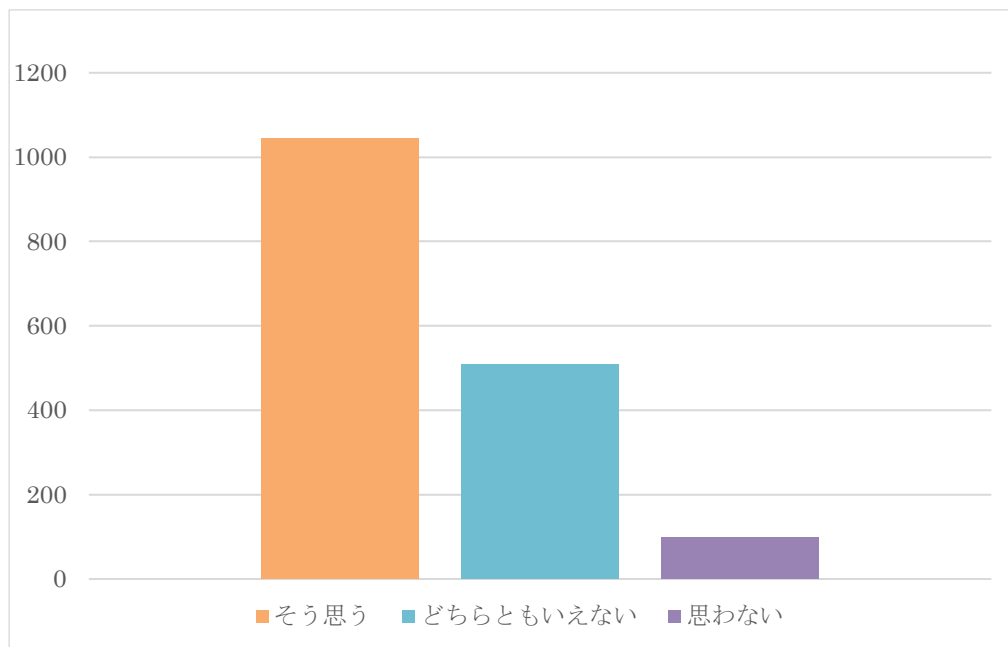


### 【後期】

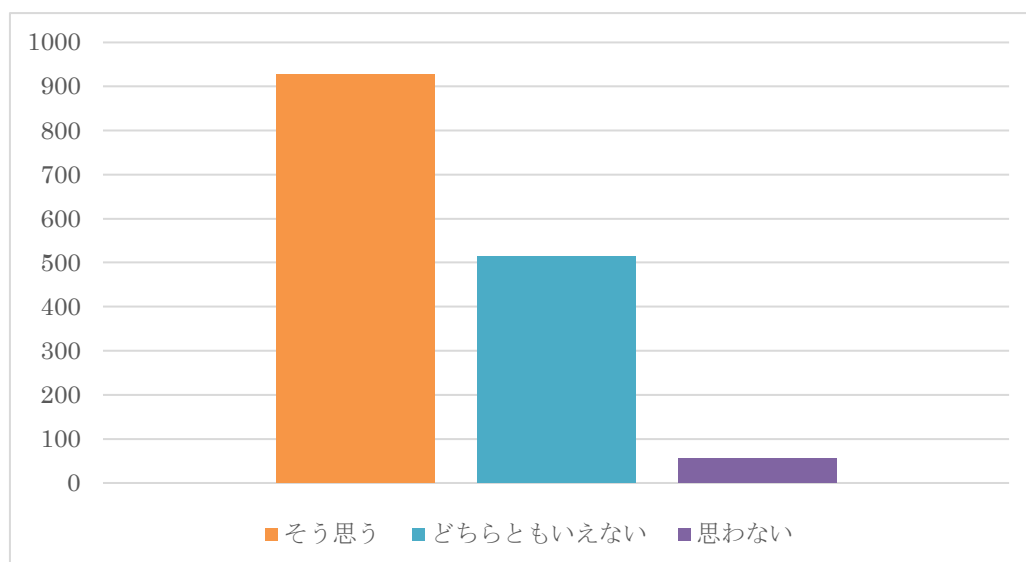


6. 教員は学生に授業への参加（質問・発言・自主的学習）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

【前期】



【後期】



7. Teams を使った授業（オンライン授業）について自由に記載してください。

内容	前期	後期
肯定的意見等	10 件	4 件
改善要望等	1 件	2 件

8. その他コメントや感想を記入してください。

内容	前期	後期
肯定的意見等	628 件	655 件
改善要望等	101 件	61 件

※大学院授業評価アンケートは別紙参照

平成 29 年 9 月 19 日  
大学規程第 5 号

(設置)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）は、本学の建学の精神及び教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、FD・SD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学の教育・研究内容及び教育方法の向上及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員の能力並びに資質向上のため、全学的な取組みを推進することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は次の構成員で組織する。

(1) 学長が任命した者 5 名程度

(学部及び研究科の各専攻の教員 1 名以上を含む)

(2) 事務職員 若干名

2 事務職員は、学長、事務局長の協議に基づき、学長が指名する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、これを補充しなければならない。ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の中から学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故又は支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

6 委員長は重要な事項については教授会に提案し、了承を求めなければならない。

(協議事項)

第5条 委員会は、次の事項を協議する。

- (1) FD・SD研修の企画・実施
- (2) 学生による授業評価の結果分析及びフィードバックに関する事
- (3) FD・SD活動に関する情報の収集と提供に関する事
- (4) その他FD・SDの推進に関する事

2 前号第1号に規定するFD・SD研修の実施に当たり、委員は講師候補者推薦書(様式第1号)を委員長に提出することができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総務係が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会に諮り、学長が行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、平成17年12月5日施行の「大阪河崎リハビリテーション大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、廃止する。

附 則(平成31年3月25日大学規程第31号)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月16日大学規程第15号)

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和4年4月1日大学規程第3号)

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和6年3月12日大学規程第16号)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。